

# 読書のすゝめ

その4 R2 4 / 10

## 発表・本屋大賞!

- 大賞 『流浪の月』** 凪良ゆう (東京創元社)
- 2位 『ライオンのおやつ』 小川糸 (ポプラ社)
  - 3位 『線は、僕を描く』 砥上裕将 (講談社)
  - 4位 『ノースライト』 横山秀夫 (新潮社)
  - 5位 『熱源』 川越宗一 (文藝春秋)
  - 6位 『MoJim 霊媒探偵城塚翡翠』 相沢沙呼 (講談社)
  - 7位 『夏物語』 川上未映子 (文藝春秋)
  - 8位 『ムゲンのi』 知念実希人 (双葉社)
  - 9位 『店長がバカすぎて』 早見和真 (角川春樹事務所)
  - 10位 『むかしむかしあるところに、死体がありました』 青柳碧人 (双葉社)

凪良ゆう『流浪の月』(東京創元社)が本屋大賞の大賞受賞に決まりました。



19歳の小児性愛者の大学生が9歳の女兒を誘拐したとされる事件で、当事者たちの外側からは見えない真実、恋愛でも友情でもない、いわく言いがたい関係性を描いた作品です。そして、この作品では「知っているつもり」「わかったつもり」「私はあなたに理解ある」と思っているあなたは、何もわかっていない」ということが、人を追い詰め、「誰もわかってくれない」という孤独感を抱かせる過程を徹底して描いています。

※受賞作品以下ノミネートされたすべての本が図書館にそろっています。

## 新任の先生紹介③

大内友里愛先生 (養護講師)



「**自閉症の僕が飛び跳ねる理由**」 東田直樹  
タイトルに惹かれ、手に取った本です。この本は、人との会話が困難で、気持ちをうまく伝えることができない自閉症者の心の声を、筆者が13歳のころに書いたものです。なかなかイメージがつかめない自閉症について、理解を深められると思います。

「**心霊探偵 八雲(シリーズ)**」 神永学  
好きな作家であり、大好きなミステリー小説です。感動もあり、笑いもあり、ドキドキハラハラ楽しめます!



内田尊久先生 (3年3組副担任・保健体育)



〈読みやすいおすすめめの雑誌〉 男性雑誌 Tarzan

初めてクラスに行き新任紹介で自己紹介した時、運動好きな男たちの目がキラキラしてました。そこで、読みやすい男性雑誌の紹介です。  
「ゴリマッチョを目指すのか? 細マッチョか? アスリート系か? 男磨きのヒントが満載です。」

